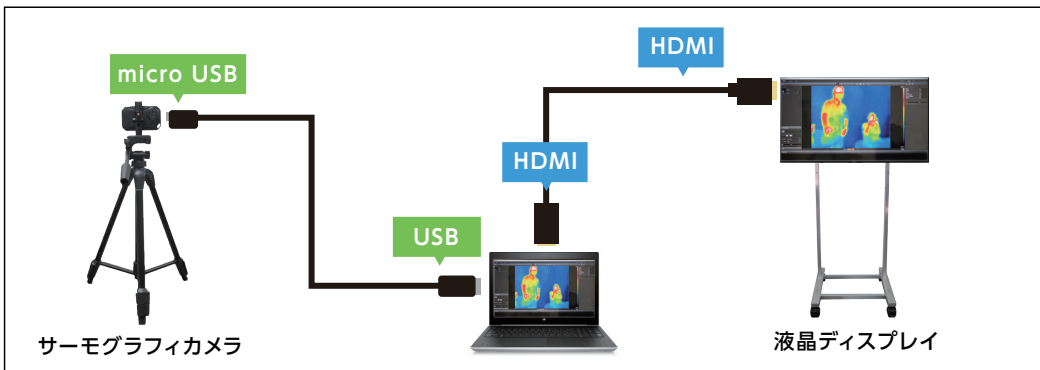


## サーモカメラセット

### 配線図



配線が終わったらパソコンとディスプレイの電源を入れ、液晶ディスプレイにPCの画面を映す設定をします。設定の仕方は弊社の【使い方ガイド集】に掲載されていますのでご一読ください。

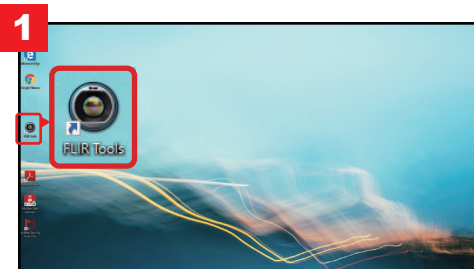
かんたん接続ガイド

液晶ディスプレイに  
PCの画面を映す接続方法



[https://www.e-tamaya.co.jp/html/howto/001\\_display\\_pc\\_setsuzoku.php](https://www.e-tamaya.co.jp/html/howto/001_display_pc_setsuzoku.php)

### 機器を接続～設定をする



1  
サーモグラフィカメラのソフトはインストールされた状態で出荷されています。サーモグラフィカメラの電源を入れ、解析ソフト「FLIR Tools」のアイコンをクリックしてください。

※正確な結果を得る為、カメラ起動後5分以上経過してから温度を測定することをお勧めします。



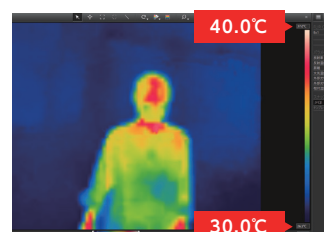
2  
ライブストリームへ接続をクリックしてください。

## サーモカメラセット

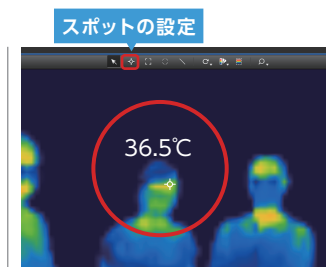


パレットツールをクリックして色表示を「Rainbow」変更し、大気温度（室温）を入力する。人を計測する場合は放射率を0.98と入力する。

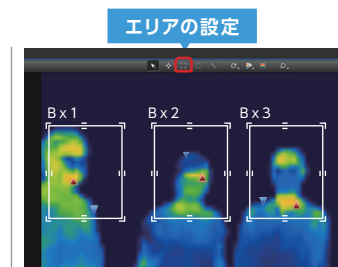
### 使い方（例）



カラーバーの温度入力範囲を上を40.0°C 下を30.0°Cに設定すると40.0°C～30.0°Cの温度帯の物体のみ表示されます。流動的な対象物の温度を測るのに適しています。



スポットの設定ボタンをクリックし、測りたい個所にカーソルを動かすと現在の温度が表示されます。流動的な対象物の温度を測るのに適しています。



エリアの設定ボタンで測りたいエリアを指定します。エリアの中で一番高い温度と低い温度がマークされます。固定された対象物の温度を測るのに適しています。

### 使用上のご注意

- ※赤外線サーモグラフィカメラの計測温度値は表面温度分布であり、体温計で測定される体温とは、温度値が異なります。マスクや眼鏡、衣服により覆われている箇所は、その表面温度を計測します。体温は計測時や計測前の環境条件（外気温等）、被測定者の状態により変動いたします。
- ※サーモグラフィカメラを利用してウイルスや感染症を検出することはできません。
- ※温度は参考程度です。感知した場合は体温計で再度計測することをお勧めします。
- ※サーモグラフィカメラは一定時間キャリブレーションが数秒間作動し、その間は測定することができません。あらかじめご注意ください。